

平成27年 3月25日

村上市長 大 滝 平 正 様

村上市村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会
委員長 櫛 谷 圭 司

村上駅周辺まちづくりプラン（基本構想）について（答申）

平成26年2月13日付けで諮問された事項について別添のとおり答申します。

記

本委員会では、村上駅周辺まちづくりプランの策定にあたって、村上市から提示を受けた駅周辺の現況調査資料とアンケート調査結果及び座談会における意見を参考として、村上駅周辺の課題を整理し、配慮すべき視点から駅周辺のまちづくりの基本方針を設定しました。この基本方針を実現させるために施策を定め具体的な取り組みの内容について議論し、9回に渡り慎重に審議を重ね村上駅周辺まちづくりプラン（基本構想）を策定いたしました。

当初計画では、概算事業費と事業スケジュールについても審議対象としておりましたが、財政等に縛られない自由な発想で議論を進めたことや厚生連村上総合病院の新築移転時期が確定していないことなどから審議対象から除き、基本構想としてまとめこれにより提言するものです。

駅周辺地域のまちづくりを推進するためには、村上駅における混雑緩和や歩行者の安全を確保するため、駅東口の機能の向上に努めるとともに、駅西口広場の整備を目指し、JRの線路により分断されている東西間については、連絡性を高め円滑な交流を促すために東西自由通路の整備を図ることや、誰もが快適に利用できるため、公共交通における利便性の向上を推進することが望ましいと考えます。

商業や観光の活性化が促進されるよう都市拠点として賑わいを創出する空間の整備や活力を生み出すためのイベントなど新たな取り組みを検討されるよう要望します。

また、地域住民が、安心して安全に住み続けられるための環境づくりを推進することや高速道路等から駅周辺地域へのアクセスの向上を図ることが望ましいと考えます。

本プランでは、村上総合病院移転後の跡地と旧ジャスコ跡地を含む地区について、村上市全体に新たな魅力と活力を生み出す市民交流の中心拠点として位置づけました。

病院移転跡地については、「児童福祉」「高齢者福祉」「文化・交流」による機能を

基本に「子育て支援」機能を中核とし、他の機能や新たな取り組みを加えた多目的な活用が望ましいと考えます。

以上が村上駅周辺まちづくりプラン（基本構想）の骨格であり、各関係機関をはじめ、市民の協力を得ながら、今後のまちづくりに反映させることを期待するものであります。併せて、具体的な取り組みや事業の実施については、財政状況、社会情勢等を考慮し、改めて検討いただきたいと思います。